

「やまぐち健幸アプリ」で楽しくお得に

歩いて健康づくり



■まずは歩くことから

20～64歳は1日8,000歩以上、65歳以上は6,000歩以上歩くことが健康づくりの目標とされています。自分のペースで無理なく歩いてみましょう。

■「やまぐち健幸アプリ」で健康づくりを楽しくお得に

「やまぐち健幸アプリ」は県公式の無料スマホアプリです。歩いた歩数や健診結果を記録することで割引などのサービスが受けられます。条件達成で抽選に参加できるキャンペーンも定期的に開催中です。楽しみながらお得に健康を目指しましょう。

●問い合わせ

カラダライブコールセンター

☎ 0570-077-122



■無理なく楽しく運動「にこにこ健康づくり」

にこにこ健康づくりは少し息がはずむ程度（にこにこペース）で無理なく楽しく続けられる運動です。1～3月の予定は右の表を確認してください。

●問い合わせ 市保健センター ☎ ㉓ 1190

○1～3月のにこにこ健康づくり（無料・申込不要）

場所	日時
遠崎地区 体育館 ※1	1月12日(月)、26日(月)、2月9日(月)、23日(月)、3月9日(月)、23日(月)／9:00～
中央公民館	1月21日(水)、2月4日(水)、18日(水)、3月4日(水)、18日(水)／15:30～
阿月公民館	1月28日(水)、2月25日(水)、3月25日(水)／13:30～
伊保庄公民館	1月28日(水)、2月25日(水)、3月25日(水)／10:00～
大畠総合 センター ※1	1月21日(水)、2月4日(水)、18日(水)、3月4日(水)、18日(水)／10:00～
日積公民館	3月18日(水) 10:00～
新庄公民館	1月14日(水)、28日(水)、2月25日(水)、3月11日(水)、25日(水)／10:00～
アデリー ホシパーク	1月22日(木)、2月12日(木)、26日(木)、3月12日(木)、26日(木)／18:00～
遠崎地区 体育館	1月24日(土)、2月28日(土)、3月28日(土)／9:00～
農業担い手 センター	1月10日(土)、2月7日(土)、3月21日(土)／9:00～
柳東文化会館 裏駐車場 ※2	2月14日(土) 9:00～

※1 室内用の運動靴が必要

※2 集合場所

乳幼児・保護者向けイベント 大きく広げよう！子育て支援の輪 ～ひなまつり～（要申込）

㉑ 2月17日(火)

10:00～11:30（受付9:30）

場 西福祉センター和室

内 手あそび、絵本の読み聞かせ、おひなさまづくり、おしゃべり会

対 乳幼児とその保護者

定 10組程度（先着順）

料 乳幼児1人につき100円（保険料等）

○申込期限 2月9日(月)

○主催

柳井市母子保健推進協議会

申 問 こどもサポート課

☎ ㉒ 2111 内線 326



アデリーホシパーク運動教室 （申込不要）

■ステップ教室

㉑ 2月17日(火) 13:30～14:15

定 15人

持 室内シューズ

■筋活教室

㉑ 2月10日(火) 13:30～14:15

定 20人

■ストレッチ講座

㉑ 2月5日(休)、12日(休)、19日(休)、26日(休)／13:30～14:15

定 各回20人

料 1回700円、回数券：5回分3,000円、10回分5,500円

問 アデリーホシパーク

☎ ㉒ 0025

心配ごと相談（無料・市民対象）

㉑ 2月3日(火) 9:30～12:00

場 市総合福祉センター2階会議室

内 家族、健康、福祉、医療などの悩みごと相談

問 市社会福祉協議会 ☎ ㉒ 3800

2月の健康相談（要申込）

■健康相談の日

㉑ 毎週(月)(火)(金)／9:00～11:30

※祝日は除く。

場 申 問 市保健センター

☎ ㉒ 1190

■乳幼児健康相談・栄養相談

㉑ 2月4日(水) 9:30～10:45

場 市役所3階

申 問 こどもサポート課

☎ ㉒ 2111 内線 326

気軽に楽しめるベーシックヨガ 「綾ヨーガ」(要申込)

㉑ 1月19日(月)以降の毎週(月)／13:30～14:30

場 市文化福祉会館2階視聴覚室

○講師 山本綾子さん

（インド中央政府公認ヨーギインストラクター）

定 20人

料 1回1,000円

持 ヨガマット、運動できる服装

申 問 バタフライアリーナ

☎ ㉒ 0830

岩国^{にゅうふう}に入封した吉川広家③

錦見^{にしみ}に移住させられた柳井津の豪商

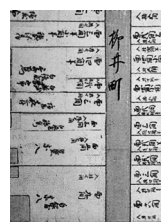
新年にあたって、どのご家庭も平穏なお正月であったと察します。さて今から526年前にあたる戦国時代の元旦、楊井（柳井）津はことのほか優雅な雰囲気^{ふしう}に包まれていました。前日の大晦日に、華美な装飾をした船が楊井津に着岸し、降りて来たのはなんと室町幕府の前將軍である足利義尹^{あしかがよしただ}（後に義植^{よしたね}と改名）でした。気品に満ちた雰囲気^{ふしう}で上陸する前將軍を、従者^{じゅうしや}が取り巻いて豪商の館に送り込みました。楊井津の豪商は、瀬戸内海で獲れた魚など美味しい料理を並べて厚くもてなしました。町中が提灯に照らされたまま元旦を迎え、前將軍に挨拶をする客が列をなしました。楊井津の豪商たちの進物は高額なものばかりでした。戦国時代の楊井津には、すでに多くの富商が存在していたのです。

時は経過し、岩国に入封する際に吉川広家は、財を蓄えた柳井津の富商たちに協力を命じました。荒野であった錦川下流に城下町を整備するにあたって、柳井津の豪商に岩国錦見^{にしみ}への移住を命じたのです。城山眼下の横山地区^{おやかた}に御館や上級家臣の居宅を建て、川の対岸にあたる錦見地区に商人

市教育委員会 社会教育指導員 松島幸夫

町を創ることにしました。とはいえ石が転がり、葦^{あし}が生えている氾濫原^{はんらんげん}です。まず川岸に土手を築き、客土^{きやくど}をして地ならしを行いました。次に商人を集めなければなりません。柳井津町と玖珂町がすでに商業で栄えていたので、両地から豪商たちを錦見地区に呼び寄せました。そのエリアは柳井町と玖珂町と称されました。吉川広家はその時の状況を、「久保久保田 岡田 亀岡 浅海^{あさのうみ} 坂田 秋本^{しらがねのつじ} 白銀之辻」と狂歌に詠んでいます。柳井津から移住させた豪商の名を5・7・5・7・7に並べて詠み込んだのです。

江戸時代中期に描かれた錦見の柳井町の古地図を見ると、狂歌の中にあった商家の名が減って、白銀屋の名が多くなっています。次第に白銀屋が他の店を吸収合併した様子がわかります。白銀屋は、白銀（銀貨）を取り扱う両替商でした。両替えだけでなく、銭を貸し出すことによって利子を得て、店を拡大していったのです。



▲錦見柳井町の古地図

●問い合わせ

文化財室 ☎2424

休日夜間応急診療所 ☎29001

受付は診療終了時間の30分前まで／土曜日休診

■休日昼間：9:00～12:00, 13:00～17:00

■平日夜間：19:00～22:00

救急医療電話相談

■こども（15歳未満）の相談 19:00～翌朝8:00
☎#8000（つながらないとき／☎083-921-2755）

■おとな（15歳以上）の相談 24時間365日対応
☎#7119（つながらないとき／☎083-921-7119）

※緊急・重症の場合は迷わず119番に通報してください。

水道修理連絡先

■宅地内の漏水

市指定給水装置工事業者

■公道での漏水

柳井地域広域水道企業団工務課（市役所別館2階）

☎250257



2月のけんけつ日程（400ml限定）

1日(日)	アクティブやない (ボランティアまつり)	9:30～12:30 13:45～15:30
15日(日)	ゆめタウン柳井	9:30～12:00 13:15～15:30
18日(水)	柳井市役所	9:30～11:45 13:00～16:00
25日(水)	柳井警察署	9:30～12:00
	井森工業(株)	13:45～16:00

●問い合わせ 市保健センター ☎231190

※令和7年12月31日現在の人口は発行時期の都合により令和8年2月12日号に掲載します。

しらかべ ポリスニュース

柳井警察署 ☎③0110



今こそやらのきや 地震対策

地震の被害から身を守るためには、日頃からの備えに加え、地震発生時の行動をイメージすることが必要です。万全の準備をしておきましょう。

■日頃からの備え

- ▼家具等が倒れないように壁に固定しておきましょう。
- ▼避難グッズを入れたリュックサック等を準備しておきましょう。
- ▼家族で災害発生時の連絡方法や避難場所等について話し合っておきましょう。
- ▼自宅、学校、職場等から最も近い避難所・避難経路を確認しておきましょう。



■もし地震が発生したら

- ▼机の下に身を隠し落ち着いて自分の身を守りましょう。
- ▼テレビ、スマートフォン等で、正確な最新の情報を確認しましょう。
- ▼強い地震や長い時間の揺れを感じたときには、直ちに海岸から離れ、高台に避難しましょう。

高台に避難
してください



表紙の説明

昨年12月14日に開催された第38回市民駅伝競走大会のスタートの様子です。中学生、高校生、社会人あわせて43チームが5区間15.1kmをたすきでつなぎ、師走の柳井を駆け抜けました。



令和7年度 柳井市人権尊重推進標語 受賞作品

新刊情報 図書館だより

みどりが丘図書館 ☎②0628 / 大畠図書館 ☎④2226
※雑誌スポンサー（企業・個人）を募集しています。

新刊図書の一部をご紹介します。

このほかの新刊・蔵書検索・開館日などの図書館情報は柳井市立図書館ホームページをご覧ください。



■一般書(柳井図書館)

豊臣家の包丁人	木下 昌輝
ジャスティス・マン	佐藤 厚志
マカロンはマカロン	近藤 史恵
学ばない探偵たちの学園	東川 篤哉
龍の守る町	砥上 裕将
ネコの手を借ります。	山本 甲士
世界はきみが思うより	寺地 はるな
たとえば孤独という名の嘘	菅田 哲也
涅槃の雪	西條 奈加
税の日本史	諸富 徹
そろそろ論語	浅田 すぐる
苦しくともなぜ生きる	高森 顕徹

■一般書(大畠図書館)

カレンダーのない家	兵藤 るり
あのときマカロンさえ買わなければ	カツセマサヒコ
幸せにならなくたっていいんだよ	ひすいこたろう
医者の使い方	長尾 和宏
中年に飽きた夜は	益田 ミリ

■児童書

つまようじの王さま	かねこまき
だれかさんのぶん	ひろかわさえこ
やってみた	へんみあやか
きみにむいてる時間のつかい方	吉武 麻子
おれたちはギロンする	安田 夏菜

編集後記

年末に家の掃除をしました。普段は何かと理由をつけて後回しにしていますが、いざやってみると気持ちが良いものですね。これが習慣づけば良いのですが、1カ月後の散らかった我が家の様子が目に浮かびます。家をきれいに保つことを令和8年の目標の一つにしようと思います。(平谷)

わたしも あなたも だれかが だいに おもってる
あいさつは 国きょうなんて 関係ない



12/20 柳井中美術部が 巨大絵馬を奉納

柳井中学校美術部が、今年の干支「馬」の巨大絵馬を代田八幡宮に奉納しました。8回目となるこの奉納は地域貢献活動の一環として行われており、このたびは部員35人が約4か月かけて絵馬を製作しました。部長の君國佳子さんは「部員それぞれの得意分野を活かし、柳井伝統のものを描いた。多くの人に見に来て欲しい」と期待を寄せました。



12/21 二十歳の集いの参加者にお菓子のプレゼント

あさひ製菓株式会社(坪野恒幸代表取締役社長・写真左から2人目)は1月に県内各地で開催される「二十歳の集い」に、同社の商品「月でひろった卵」を贈りました。この日は本市の二十歳の集いスタッフへの贈呈式が市役所で開催され、坪野社長は「久しぶりに再開する仲間と懐かしむ中で、月でひろった卵と一緒に食べたことが小さな1つの思い出になれば」と想いを語りました。



12/1 平郡に地域おこし協力隊員が着任

東京都出身の田中望さんが平郡島地域おこし協力隊員に着任しました。福祉職の経験を持つ田中さんは「平郡には高齢者の方が多いので、福祉職の経験を活かせると思う。(平郡は)とても素敵な場所なので、皆さんから色々と教えていただきながら、多くの人へ魅力を発信していきたい」と抱負を語りました。



12/22 年末年始の交通安全キャンペーン

年末年始の交通安全県民運動が県下一斉に実施されることに伴い、正しい交通ルール・交通マナーを啓発するためのキャンペーンがゆめタウン柳井で開催されました。柳井警察署、市交通安全協会、市連合婦人会、県損害保険代理業協会などの皆さん約20人が、交通安全グッズを配布し、交通事故の防止を呼びかけました。

「音訳しらかべの会」の皆さんによる「声の広報(音訳版広報)」を市ホームページに掲載しています。